



競技場の大歓声と興奮に包まれて、選手たちと一体となる。  
みんなと一緒に校歌を歌えば、忘れられない思い出になる。

応援に行こう ■ 校歌を歌おう

# 専大スポーツの黄金時代へ



2012年1月5日、専修大学の歴史において、末永く語り継がれる出来事が起こった。創部50周年のサッカー部が、記念すべき年を祝うようにインターカレッジ（全日本大学サッカー選手権大会）初出場、初優勝という、奇跡的な偉業を成し遂げたのだ。試合が行われた当日の国立競技場は、本学の校友・在校生・関係者で埋め尽くされ、「オール専修」の熱い応援を繰り広げた。

「専大スポーツ」は長期にわたる低迷期を脱し、最近では変化が起きつつある。とりわけサッカー部の大勝利は、まさに「専大スポーツ」黄金時代の幕開けを予感させる。折しも、ラグビー部には、世界で活躍した村田互新監督が就任。日本一を争える、チームづくりを目指す。そのためには、監督や選手たちの頑張りはもちろんのこと、校友や在校生などの熱い応援や支援が不可欠である。

2012年度の『アドニス』は、4回にわたって「専大スポーツ」特集の連載を予定している。いまこそ、ともに競技場に行こう、ともに校歌を高らかに歌おう。勝利の美酒を、ともに味わおうではないか。